

しみないホワイトニング治療に



ホワイトニング前後に使用できる

歯科用知覚過敏抑制材料

スーパーシールスティックタイプ

新登場

**SUPER
SEAL®**

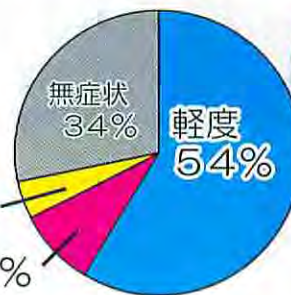
For
WHITENING



ホームホワイトニングによる知覚過敏の発生率

オフィスホワイトニング
ホームホワイトニング
前後の
知覚過敏抑制に

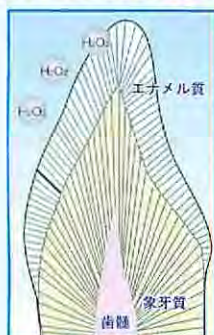
携帯できて
気軽に塗れる
スティックタイプ



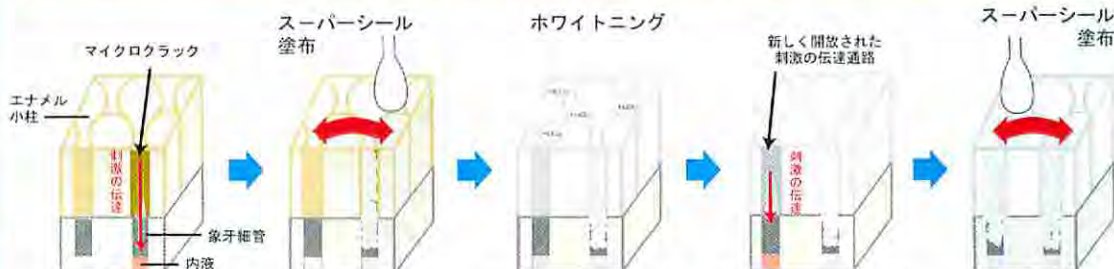
知覚過敏発生率
約66%

ホームホワイトニング材(15%過酸化尿素)を使用したホワイトニング開始後1週間の知覚過敏の発生率
Michael GJ & William BC Incidence of tooth sensitivity after home whitening treatment JADA 133, 1076-1082, 2002.

スーパーシールのホワイトニング治療前後の知覚過敏抑制のシステム



エナメル小柱



エナメル質にエナメル葉やマイクロクラック等が存在して欠損部から象牙細管までつながっていますと、象牙細管内の内液が動き知覚過敏を発生させることがあります。

※ エナメル葉: ENAMEL LAMELLAE
エナメル象牙質からエナメル質表面まで通ずる寸上、発達した薄いエナメル小柱で、石灰化の程度が低く、有機質を多く含む。

スーパーシールは歯質のカルシウムと反応して、シュウ酸カルシウム結晶を形成し、そのクラック等を塞ぎ、知覚過敏を抑制します。

過酸化水素や過酸化尿素を含有する漂白材はエナメル質の有機質を溶解し、ホワイトニング作用を発揮させるといわれています。スーパーシールにより形成されるシュウ酸カルシウム結晶は、ホワイトニング作用に影響を与えることなく知覚過敏を抑制します。

漂白材により有機質が溶解し、空隙がエナメル象牙質境に向けて開放状態となることがあります。この場合、象牙細管内の内液が動き、知覚過敏を発生させることがあります。

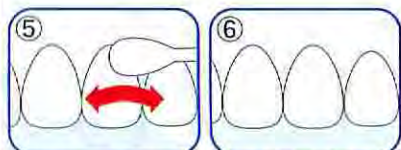
漂白後にスーパーシールを塗布することにより、スーパーシールはこの空隙を通じて象牙細管まで浸透して知覚過敏を抑制します。また、このシュウ酸カルシウム結晶は着色物質の再形成を阻害します。

※イラストはイメージです。

ご使用方法 0.3mLで約6歯面が適用の目安です。



① 歯面清掃します。
② 容器を垂直に持ち、容器のスティック根元部を軽く押しつぶします。
③ スティック根元部を前後方に勢良く折り曲げ、ひねると開封します。
④ スティックを容器の底に下げてスーパーシールをたっぷり吸い込ませて、上に引き上げます。



⑤ 手鏡等を見ながら歯面にスーパーシールを30秒間こすり塗ります。
⑥ 1~2分間放置して自然乾燥させます。

- ホワイトニング治療前後に本品を使用される場合は、本品のご使用後、各ホワイトニング材の使用説明書に従ってホワイトニング治療を行ってください。
- 知覚過敏が残っている場合は、スーパーシールのこすり塗りを繰り返し行って下さい。

歯科用知覚過敏抑制材料 スーパーシール

スティックタイプ 0.3mL 6本入
内容: スティックタイプ 0.3mL×6、使用説明書×6



管理医療機器 医療機器認証番号: 220A08Z000089000
一般名: 歯科用知覚過敏抑制材料 (70926000)
製造業者: Phoenix Dental, Inc. (フェニックスデンタル社)

※製品の仕様は予告なく変更される場合があります。

SD サンデンタル株式会社

本社 〒542-0081 大阪市中央区南船場4丁目8番9号
TEL 06-6245-0950 FAX 06-6245-7690
東京営業所 〒113-0034 東京都文京区湯島3丁目12番1号
TEL 03-3836-9347 FAX 03-3836-2090
福岡営業所 〒812-0016 福岡市博多区博多駅南4丁目3番9号
TEL 092-482-2318 FAX 092-482-2339

内外歯材株式会社

本社 〒543-0062 大阪市天王寺区逢坂2丁目3番10号
TEL 06-6771-5553 FAX 06-6779-7845
名古屋営業所 〒464-0075 名古屋市中千種区内山1丁目2番6号
TEL 052-741-7011 FAX 052-741-7014

株式会社 エイコー

〒110-0005 東京都台東区上野3丁目7番3号
TEL 03-3836-1871 FAX 03-3832-3810

製造販売業者 株式会社エイコー
東京都台東区上野3丁目17番10号
EIKO CORPORATION TEL 03-3834-5777